

生鮮ぶどうの輸入



**2025年は、全国・横浜港ともに、輸入金額過去最高
横浜港は、輸入数量・金額ともに、2年連続全国第1位**

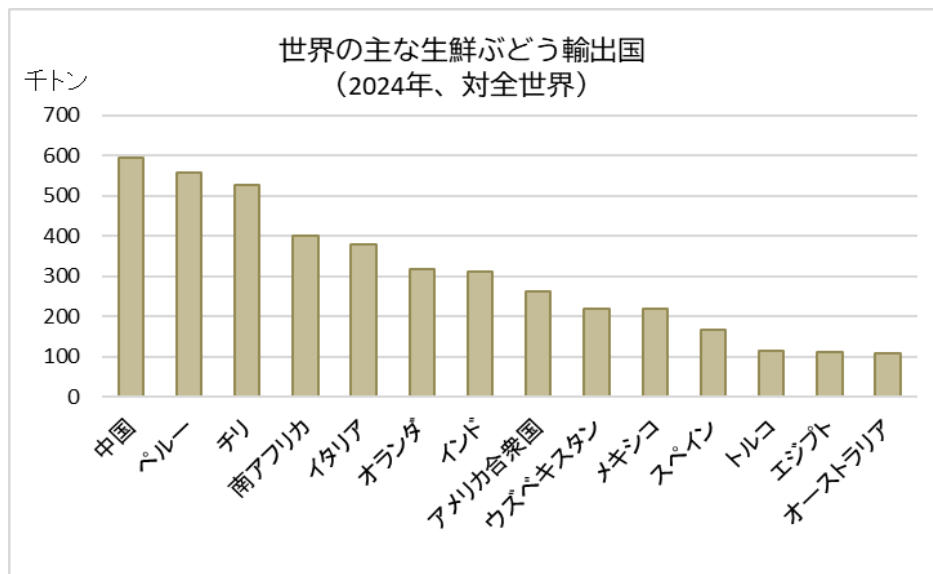
はじめに

ぶどうは、ブドウ科ブドウ属のつる性植物で、古くから世界各地で栽培されています。そのまま生食するほかに、干しぶどうやジュース、ワインなどさまざまな形で利用され、生食用やワイン用といった用途の違いや、栽培される地域の気候・風土に応じて、多くの品種が生まれています。

日本では主に生食用として栽培され、夏から秋に旬を迎えます。ぶどうと言えば、ぶどう狩りや、百貨店で販売されている大粒で化粧箱入りの贈答品を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。

一方で、スーパーなどの店頭では、年間を通してぶどうが並んでいます。見た目や形もさまざまで、ひと房そのままのものだけでなく、大容量のものや、緑・黒・赤のぶどうを組み合わせた食べ比べパック、食べきりサイズの小容量タイプ、さらにはカットフルーツにミックスされた商品なども販売されています。これらの手頃な価格で気軽に楽しめる商品には、輸入品の生鮮ぶどうが広く活用されています。

2025年は、全国・横浜港ともに、輸入金額が過去最高となりました。また、港別シェアでは、輸入数量・金額ともに、横浜港が2年連続で全国第1位となっています。今回は、生鮮ぶどうの輸入を特集します。

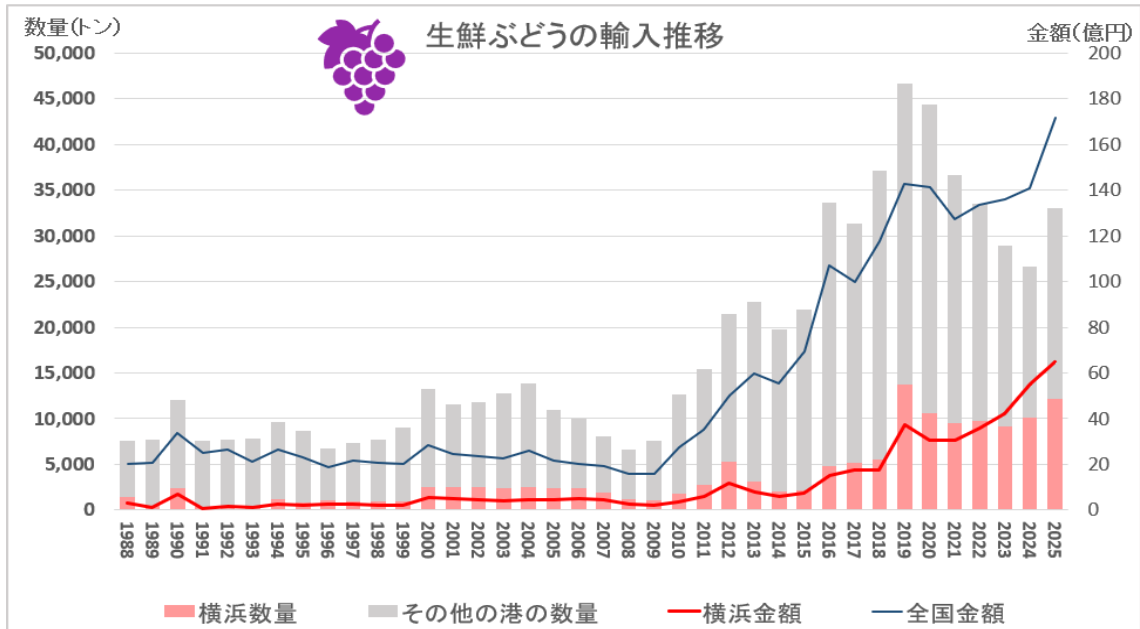


(UN Comtrade(Commodity Code:0806.10)より作成)

本特集の「生鮮ぶどうの輸入」は、以下の統計品目番号について、比較可能な1988年以降のデータをまとめたものです。
輸入統計品目番号：0806.10 ぶどう(生鮮のもの及び乾燥したものに限る。) - 生鮮のもの

輸入動向

2025年の全国における生鮮ぶどうの輸入実績は、数量が33,060トン（対前年比124.1%）、金額が171億66百万円（同121.9%）でした。このうち、横浜港においては、数量は12,202トン（対前年比120.7%）、金額は64億67百万円（同117.1%）となっています。全国・横浜港ともに、金額において過去最高となりました。



業界によりますと、2010年代の日本では、シャインマスカットの人気拡大を背景に、ぶどうがメディアに取り上げられる機会が増加しました。海外産の生鮮ぶどうについても、国産が少ない季節に出回り、量が多く価格が手頃であることから人気が高まり、輸入が増加していきました。

しかし、輸入数量は2019年をピークに減少傾向となりました。これは、主要国の収穫量減少の他、為替の変動やコロナ禍以降は密閉性の高い容器の使用が進み、包装コストの上昇もあって販売価格が上がり、消費者がお得感を感じにくくなったことなどが要因としてあるようです。

一方で、味や食感に優れた品種の輸入が進んでいるほか、「生ゴミが出ない」「食べきりサイズ」「すぐ食べられる」といった、手軽さを重視する消費者のニーズに応えた販売方法も広まっています。これらの動きにより、購入する消費者が増え、2025年には再び輸入数量が増加しているとのこと。

現在輸入されている生鮮ぶどうには、糖度の高さや甘味と酸味のバランス、濃厚でフルーティーあるいは上品でさわやかな香り、ジューシーさ、シャキシャキした食感など、それぞれに特徴のある多様な品種があります。今後はさらに新しい品種の輸入も増えていくと見られています。



(写真提供：株式会社アイズ)

◎ミニコラム～ 種なし、皮ごと◎

生食用ぶどうは世界的に、種なしで皮ごと食べられるものが人気で、日本への輸入品にも同様のものが多く含まれています。

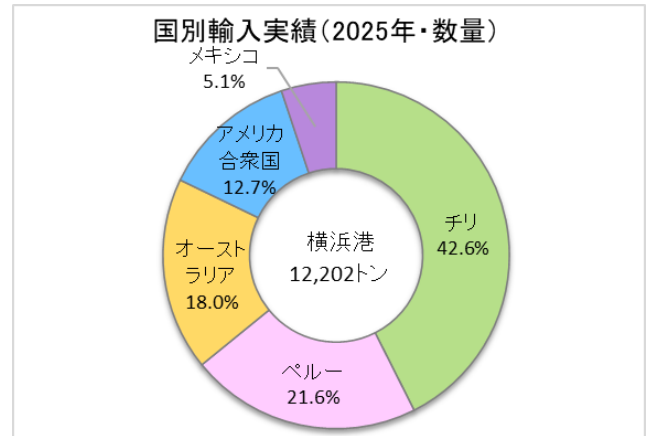
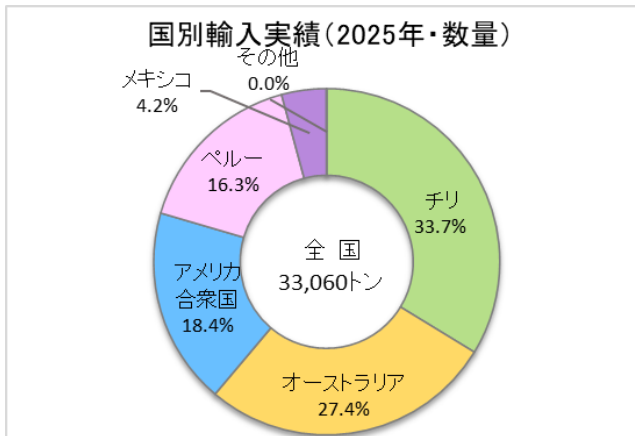
世界ではもともと種のない品種も広く栽培されている一方で、日本産の種なしぶどうは、本来は種のある品種を種なし化して栽培するのが一般的です。1950年代に、山梨県果樹試験場において、ジベレリンという植物ホルモンを用いてテラウェアの種なし化に初めて成功したことが、大きな契機となりました。その後、他品種への応用が進むとともに、品種の特性などに応じた処理方法が広まりました。シャインマスカットの人気を背景に、現在では種なしに加え、皮が薄く、皮ごと食べやすい大粒品種の人気が高まっています。

国別輸入動向

2025年は、全国では8か国、横浜港では5か国から生鮮ぶどうが輸入されました。国別の数量と金額をみると、全国における上位3か国は、第1位がチリ、第2位がオーストラリア、第3位がアメリカ合衆国となり、横浜港における上位3か国は、第1位がチリ、第2位がペルー、第3位がオーストラリアとなっています。横浜港は、全国と比べて中南米からの輸入の比率が高い傾向にあります。

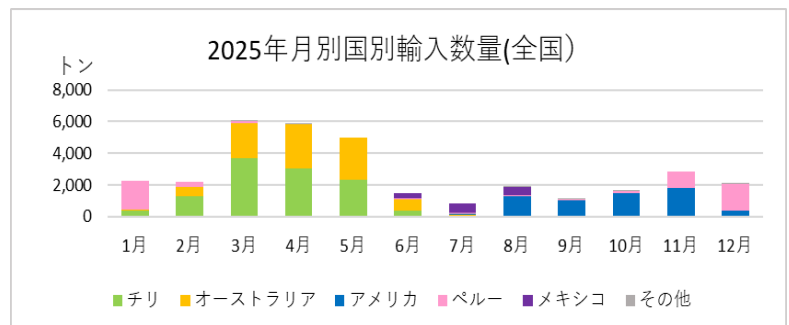
全 国(2025年)					
国 名	数量 (トン)	数量 構成比	金額 (百万円)	金額 構成比	通関単価 (円/KG)
全 世 界 (8 か 国)	33,060	100.0%	17,166	100.0%	519
チ リ	11,153	33.7%	5,273	30.7%	473
オーストラリア	9,067	27.4%	4,216	24.6%	465
アメリカ合衆国	6,074	18.4%	3,450	20.1%	568
ペ ル ー	5,376	16.3%	3,198	18.6%	595
メ キ シ コ	1,378	4.2%	1,007	5.9%	731
そ の 他	12	0.0%	22	0.1%	—

横 浜 港(2025年)					
国 名	数量 (トン)	数量 構成比	金額 (百万円)	金額 構成比	通関単価 (円/KG)
全 世 界 (5 か 国)	12,202	100.0%	6,467	100.0%	530
チ リ	5,195	42.6%	2,542	39.3%	489
ペ ル ー	2,631	21.6%	1,540	23.8%	585
オーストラリア	2,199	18.0%	1,057	16.4%	481
アメリカ合衆国	1,553	12.7%	896	13.9%	577
メ キ シ コ	624	5.1%	431	6.7%	691
—	—	—	—	—	—



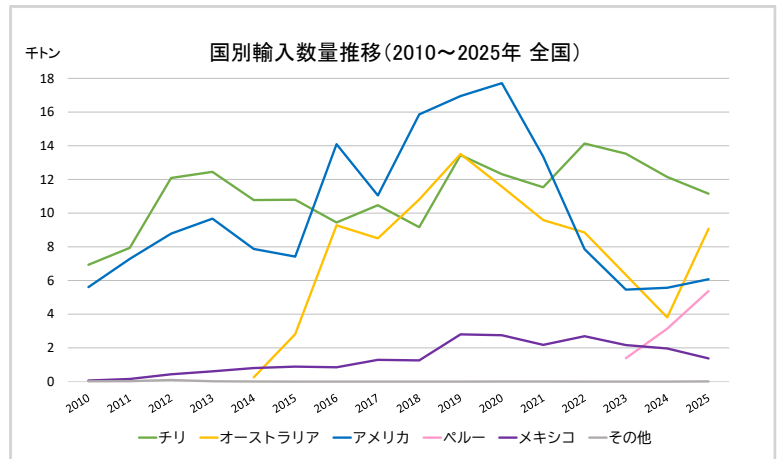
全国の月別輸入数量をみると、国産が多く出回る夏から秋は減少するものの、輸入は年間を通して行われています。

最も多い3～5月には南半球のチリ産とオーストラリア産がピークとなり、夏から秋には北半球のメキシコ産が登場し、そしてアメリカ産にメインが移ります。11月頃から春先にかけては南半球のペルー産、その後再びチリ産とオーストラリア産が増えるという形で、上半期は南半球、下半期は北半球を中心に輸入されています。



従来、日本に輸入される生鮮ぶどうの多くは、チリ産とアメリカ産が占めていました。しかし、植物防疫法により禁止されていたオーストラリア産が、2014年に品種を限定して条件付きで解禁されたことで、新たな供給源が加わり、日本全体の生鮮ぶどうの輸入数量は増加していきました。

さらに、2023年にペルー産が条件付きで解禁され、2024年にオーストラリア産の品種制限が撤廃されました。

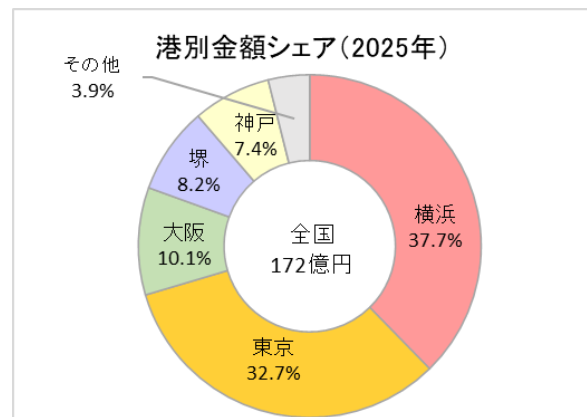
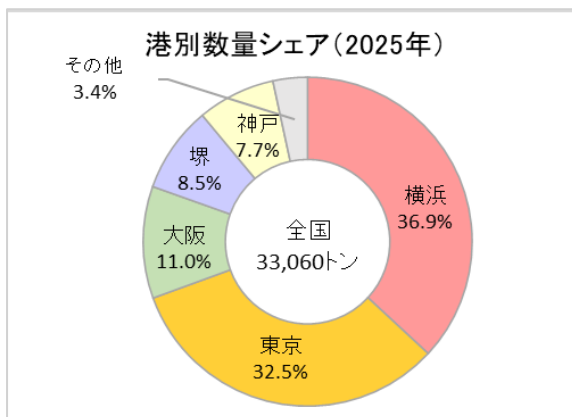


業界によりますと、2025年の輸入数量増加の背景には、ペルー産の伸びと、2020年から減少傾向にあったオーストラリア産の回復があるそうです。ペルーは世界有数の生鮮ぶどうの輸出国で、近年需要の高い品種も多く栽培し、安定した供給が続いており、輸入数量は対前年比1.7倍となっています。また、オーストラリアは、輸入できる品種が増えたことで増加に転じ、対前年比2.4倍となっています。オーストラリアは、日本までの輸送日数が比較的短く、鮮度の高さが魅力の一つです。また、日本を含むアジア市場への輸出にも力を入れており、新しい品種の栽培にも積極的です。こうした理由から、オーストラリアは今後も主要な生鮮ぶどうの産地として注目されるだろうとのことです。

港別輸入シェア

2025年の港別輸入シェアは、次の円グラフのとおりです。横浜港は数量で36.9%、金額では37.7%のシェアを占めており、数量・金額について2年連続全国第1位、また、金額においては現在の貿易統計として比較可能な1988年以降歴代第1位となりました。

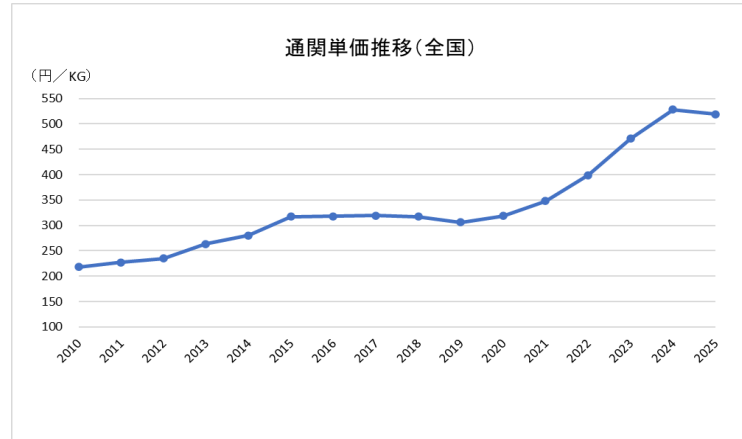
生鮮ぶどうは、冷蔵コンテナで輸送されます。通関後は小売用パックなどへ加工されることが多いのですが、横浜港は、青果の扱いに慣れた冷蔵倉庫が周辺に多く、仕分けや加工拠点として活用されています。また、首都圏の食品加工工場や物流センター、小売店舗などへの物流効率の良さや、中南米からの定期航路があることも、シェアが高い要因となっています。



通関単価の動向

2025年の全国の通関単価は1KGあたり519円となりました。2010年の1KGあたり218円と比較すると、2.4倍となっています。

業界によりますと、近年の通関単価の上昇については、気候変動で厳しさを増す栽培条件に適応した耐暑性や、優れた食味などを備えた高単価品種への移行が進んでいることに加え、人件費や資材・肥料等の生産コストの上昇、さらには燃料費や物流費高騰などが要因として挙げられるとのこと。



おわりに

生鮮ぶどうの輸入の今後について、業界では、気候変動による収穫量の不安定さや世界的な物価上昇の影響などから、価格とのバランスに左右される側面が大きいと考えられています。一方で、品種の増加に伴う食味の向上や、手軽に食べられる果物を求める消費者ニーズに合致していることから、今後も需要の拡大が期待されています。

生鮮ぶどうは、乾燥しないように密封し、冷蔵庫での保存が適していますが、冷凍保存も可能です。半解凍で食べると、生とは違ったシャーベットのような食感も楽しめます。品種や食べ方など色々試して、好みのぶどうを探してみませんか？



<取材協力>

株式会社アイズ、公益財団法人中央果実協会、株式会社ユニオン 他
(五十音順、敬称略)

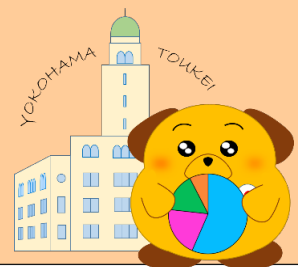
【この資料に関する問い合わせ】

横浜税関 調査部 調査統計課 Tel 045-212-6100

〒231-8401 横浜市中区海岸通1-1

<https://www.customs.go.jp/yokohama/>

本資料を他に転載するときには、横浜税関の資料による旨を必ず注記して下さい。



生鮮ぶどうの輸入に係る各種データ

本特集の「生鮮ぶどうの輸入」は、以下の統計品目番号についてまとめたものです。
 輸入統計品目番号：0806.10
 ※1988年～2024年は確定値、2025年は確々報値

1. 全国と横浜港の輸入実績推移

年	全 国				横 浜 港							
	数 量 (KG)	前年比	金 額 (千円)	前年比	通関単価 (円/KG)	数 量 (KG)	前年比	全国比	金 額 (千円)	前年比	全国比	通関単価 (円/KG)
1988	7,628,680	—	2,036,847	—	267	1,424,295	—	18.7%	312,385	—	15.3%	219
1989	7,740,624	101.5%	2,055,471	100.9%	266	524,283	36.8%	6.8%	117,798	37.7%	5.7%	225
1990	12,039,707	155.5%	3,384,055	164.6%	281	2,415,467	460.7%	20.1%	688,444	584.4%	20.3%	285
1991	7,567,937	62.9%	2,489,085	73.6%	329	291,364	12.1%	3.8%	81,017	11.8%	3.3%	278
1992	7,732,188	102.2%	2,652,399	106.6%	343	459,259	157.6%	5.9%	167,287	206.5%	6.3%	364
1993	7,776,180	100.6%	2,103,759	79.3%	271	346,478	75.4%	4.5%	91,880	54.9%	4.4%	265
1994	9,647,750	124.1%	2,633,532	125.2%	273	1,159,686	334.7%	12.0%	267,611	291.3%	10.2%	231
1995	8,630,227	89.5%	2,285,792	86.8%	265	879,858	75.9%	10.2%	218,317	81.6%	9.6%	248
1996	6,751,158	78.2%	1,896,207	83.0%	281	1,017,740	115.7%	15.1%	238,120	109.1%	12.6%	234
1997	7,350,627	108.9%	2,157,463	113.8%	294	905,985	89.0%	12.3%	241,374	101.4%	11.2%	266
1998	7,648,972	104.1%	2,064,390	95.7%	270	959,438	105.9%	12.5%	230,768	95.6%	11.2%	241
1999	9,005,147	117.7%	2,019,017	97.8%	224	953,125	99.3%	10.6%	194,398	84.2%	9.6%	204
2000	13,218,810	146.8%	2,844,709	140.9%	215	2,566,993	269.3%	19.4%	539,075	277.3%	19.0%	210
2001	11,510,827	87.1%	2,475,215	87.0%	215	2,524,957	98.4%	21.9%	521,288	96.7%	21.1%	206
2002	11,836,815	102.8%	2,343,805	94.7%	198	2,525,164	100.0%	21.3%	468,689	89.9%	20.0%	186
2003	12,750,792	107.7%	2,245,789	95.8%	176	2,419,076	95.8%	19.0%	389,446	83.1%	17.3%	161
2004	13,873,470	108.8%	2,591,131	115.4%	187	2,563,263	106.0%	18.5%	437,056	112.2%	16.9%	171
2005	10,954,853	79.0%	2,185,290	84.3%	199	2,392,347	93.3%	21.8%	466,580	106.8%	21.4%	195
2006	9,948,506	90.8%	1,997,795	91.4%	201	2,452,343	102.5%	24.7%	491,850	105.4%	24.6%	201
2007	8,068,547	81.1%	1,938,236	97.0%	240	1,879,982	76.7%	23.3%	431,822	87.8%	22.3%	230
2008	6,612,208	82.0%	1,609,433	83.0%	243	1,210,937	64.4%	18.3%	281,432	65.2%	17.5%	232
2009	7,549,510	114.2%	1,599,900	99.4%	212	1,097,338	90.6%	14.5%	225,629	80.2%	14.1%	206
2010	12,625,452	167.2%	2,754,247	172.2%	218	1,850,828	168.7%	14.7%	364,413	161.5%	13.2%	197
2011	15,409,596	122.1%	3,499,708	127.1%	227	2,744,202	148.3%	17.8%	609,666	167.3%	17.4%	222
2012	21,405,549	138.9%	5,024,136	143.6%	235	5,325,120	194.0%	24.9%	1,163,445	190.8%	23.2%	218
2013	22,759,498	106.3%	6,000,930	119.4%	264	3,071,037	57.7%	13.5%	798,683	68.6%	13.3%	260
2014	19,717,466	86.6%	5,522,249	92.0%	280	2,052,219	66.8%	10.4%	601,923	75.4%	10.9%	293
2015	21,915,050	111.1%	6,948,469	125.8%	317	2,167,148	105.6%	9.9%	723,275	120.2%	10.4%	334
2016	33,671,355	153.6%	10,717,018	154.2%	318	4,769,192	220.1%	14.2%	1,502,058	207.7%	14.0%	315
2017	31,318,819	93.0%	9,996,852	93.3%	319	5,144,697	107.9%	16.4%	1,753,091	116.7%	17.5%	341
2018	37,094,689	118.4%	11,769,366	117.7%	317	5,559,482	108.1%	15.0%	1,777,044	101.4%	15.1%	320
2019	46,716,402	125.9%	14,293,612	121.4%	306	13,740,411	247.2%	29.4%	3,755,925	211.4%	26.3%	273
2020	44,369,986	95.0%	14,144,682	99.0%	319	10,553,834	76.8%	23.8%	3,074,588	81.9%	21.7%	291
2021	36,671,992	82.7%	12,755,921	90.2%	348	9,484,465	89.9%	25.9%	3,064,445	99.7%	24.0%	323
2022	33,546,410	91.5%	13,383,640	104.9%	399	9,814,457	103.5%	29.3%	3,591,539	117.2%	26.8%	366
2023	28,883,562	86.1%	13,589,110	101.5%	470	9,135,618	93.1%	31.6%	4,211,466	117.3%	31.0%	461
2024	26,642,677	92.2%	14,077,459	103.6%	528	10,112,481	110.7%	38.0%	5,521,579	131.1%	39.2%	546
2025	33,060,030	124.1%	17,165,655	121.9%	519	12,201,662	120.7%	36.9%	6,466,674	117.1%	37.7%	530

2. 港別輸入実績 (2025年)

港名	数量 (KG)	構成比	金額 (千円)	構成比	通関単価 (円/KG)
全 国	33,060,030	100.0%	17,165,655	100.0%	519
横 浜	12,201,662	36.9%	6,466,674	37.7%	530
東 京	10,753,713	32.5%	5,618,375	32.7%	522
大 阪	3,638,576	11.0%	1,740,182	10.1%	478
堺	2,810,415	8.5%	1,402,476	8.2%	499
神 戸	2,535,800	7.7%	1,267,325	7.4%	500
そ の 他	1,119,864	3.4%	670,623	3.9%	—

3. 国別輸入実績 (2025年)

全 国						横浜港					
国名	数量 (KG)	構成比	金額 (千円)	構成比	通関単価 (円/KG)	国名	数量 (KG)	構成比	金額 (千円)	構成比	通関単価 (円/KG)
全 世 界 (8 国)	33,060,030	100.0%	17,165,655	100.0%	519	全 世 界 (5 国)	12,201,662	100.0%	6,466,674	100.0%	530
チ リ	11,153,435	33.7%	5,272,748	30.7%	473	チ リ	5,194,541	42.6%	2,542,460	39.3%	489
オーストラリア	9,067,047	27.4%	4,215,539	24.6%	465	ペ ル	2,630,906	21.6%	1,540,091	23.8%	585
アメリカ合衆国	6,073,850	18.4%	3,450,421	20.1%	568	オーストラリア	2,198,826	18.0%	1,057,394	16.4%	481
ペ ル	5,376,029	16.3%	3,197,922	18.6%	595	アメリカ合衆国	1,553,190	12.7%	895,650	13.9%	577
メ キ シ コ	1,377,770	4.2%	1,006,923	5.9%	731	メ キ シ コ	624,199	5.1%	431,079	6.7%	691
そ の 他	11,899	0.0%	22,102	0.1%	—	—	—	—	—	—	—

4. 月別国別輸入数量 (全国 2025年)

(単位: KG)

国名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全 世 界	2,283,811	2,187,150	6,017,738	5,844,081	4,969,863	1,451,488	856,392	1,848,578	1,087,679	1,608,485	2,848,490	2,056,275
チ リ	368,251	1,263,958	3,721,116	3,039,575	2,351,559	408,976	—	—	—	—	—	—
オーストラリア	51,840	639,144	2,157,057	2,787,582	2,618,304	709,440	103,680	—	—	—	—	—
アメリカ合衆国	—	—	—	—	—	—	92,626	1,275,990	1,050,311	1,466,883	1,825,676	362,364
ペ ル	1,863,720	284,048	136,940	15,580	—	37,392	74,784	73,800	36,408	140,712	1,022,814	1,689,831
メ キ シ コ	—	—	—	—	—	295,680	585,302	496,788	—	—	—	—
そ の 他	—	—	2,625	1,344	—	—	—	2,000	960	890	—	4,080

5. 国別輸入数量推移 (全国)

(単位: KG)

国名	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
全 世 界	12,625,452	15,409,596	21,405,549	22,759,498	19,717,466	21,915,050	33,671,355	31,318,819	37,094,689	46,716,402	44,369,986	36,671,992
チ リ	6,932,657	7,940,479	12,090,006	12,452,614	10,778,310	10,793,919	9,447,583	10,470,268	9,164,517	13,444,480	12,317,280	11,539,370
オーストラリア	—	—	—	—	251,256	2,814,208	9,276,791	8,507,914	10,810,577	13,512,717	11,573,483	9,591,870
アメリカ合衆国	5,611,621	7,284,274	8,783,940	9,675,324	7,876,553	7,420,319	14,095,229	11,047,110	15,858,490	16,952,598	17,719,177	13,355,867
ペ ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
メ キ シ コ	61,644	157,628	436,606	610,605	804,137	886,172	850,552	1,292,768	1,260,166	2,806,010	2,754,761	2,180,175
そ の 他	19,530	27,215	94,997	20,955	7,210	432	1,200	759	939	597	5,285	4,710

国名	2022年	2023年	2024年	2025年
全 世 界	33,546,410	28,883,562	26,642,677	33,060,030
チ リ	14,133,280	13,529,753	12,148,230	11,153,435
オーストラリア	8,854,926	6,334,392	3,812,547	9,067,047
アメリカ合衆国	7,865,002	5,460,171	5,568,867	6,073,850
ペ ル	—	1,388,030	3,143,305	5,376,029
メ キ シ コ	2,691,322	2,169,347	1,967,504	1,377,770
そ の 他	1,880	1,869	2,224	11,899

(参考) 世界の主な生鮮ぶどう輸出国 (2024年)

※UN Comtradeより作成 (Commodity Code:0806.10)

国名	数量(千トン)
中 国	594
ペ ル	558
チ リ	527
南 アフリカ	400
イ タ リ ア	379
オ ラ ン ダ	316
イ ン ド	310
アメリカ合衆国	263
ウズベキスタン	219
メ キ シ コ	219
ス ペ イ ン	167
ト ル コ	115
エ ジ プ ト	110
オーストラリア	107